

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	現代観光論		
担当者(Instructors)	宮本 佳範	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

世界中で観光振興に向けた取り組みが行われています。その一方で観光に伴う問題点やマス・ツーリズムの弊害が指摘され、持続可能な観光の実現が課題となってきています。本講義では、観光地で起きている諸問題を理解し、「持続可能な観光」への視点等を身に着けることを目的とします。そのために各地で起きている観光に伴う問題や、エコツーリズムなどについて学びます。さらに現代の観光研究の諸領域に関する研究論文等を読み、発表することで現代観光の諸相を幅広く学びます。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	講義およびグループワーク（プレゼンテーションを含む）を併用します。グループワークでは、グループ毎にテーマを決め、調べ、発表する流れで行います。授業ではパソコンを使用します。原則すべて対面で行う予定ですが、必要に応じてメディア授業を取り入れる場合もあります（7回以内）。受講者数により、下記の内容は若干変更する場合があります。詳しくは初回のガイダンス時に説明するので“必ず”出席すること。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイダンス	本講義で何を学ぶのか、概要を説明する。	<input type="checkbox"/>
第2回	観光地で生じる諸問題	観光地で起きている様々な問題点を紹介する。	<input type="checkbox"/>
第3回	ハワイの観光開発について考える	観光開発の成功例といわれるハワイについて、その問題点を解説する。	<input type="checkbox"/>
第4回	持続可能な観光について	持続可能な観光という考え方が生まれてきた流れを解説する。	<input type="checkbox"/>
第5回	SDGsと観光	さまざまな分野で目指されているSDGsに対して観光がどうかかわれるのかを説明する。	<input type="checkbox"/>
第6回	エコツーリズムについて	持続可能な観光のひとつとして期待されるエコツーリズムについて、その背景や理念等について説明する。	<input type="checkbox"/>
第7回	自然保護について	エコツーリズムの前提となる自然保護についての考え方を学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第8回	様々な自然保護思想	持続可能な観光の背景となる世代間倫理、とそれ以外の自然保護思想の違い等を考える。	<input type="checkbox"/>
第9回	発表準備：資料選定	グループを作り、観光研究の諸領域から発表するテーマを選ぶ。	<input type="checkbox"/>
第10回	発表準備：概要の理解	担当するテーマについて、しっかりと内容を理解し、発表の構成、内容について検討する。	<input type="checkbox"/>
第11回	発表準備：スライド作り	発表に向けてスライドを作成する。	<input type="checkbox"/>
第12回	発表：前半グループ	グループごとに選んだテーマに関する発表を行う。	<input type="checkbox"/>
第13回	発表：中間グループ	グループごとに選んだテーマに関する発表を行う。	<input type="checkbox"/>
第14回	発表：後半グループ	グループごとに選んだテーマに関する発表を行う。	<input type="checkbox"/>
第15回	全体の復習と小テスト	講義全体をふりかえり、小テストを実施する。	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

講義の予習・復習および発表準備などを各回あたり4時間程度行う。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

授業中のレポートおよび発表はその都度講評する。

■授業の到達目標と評価基準 (Course goals)		
区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
主体性	◆ 2021地域ビジネスDP3	自ら主体的にグループワークに参加し、協力して作業をすることができる。

■成績評価 (Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			40%	60%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

授業内試験は、発表(20%)、小テスト(20%)です。ただし、受講者数が多く発表が長引く場合は小テストを実施せず、発表(40%)で評価する。その他(60%)は、授業のレポートや作業への取り組みを総合的に評価します。

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	必要に応じて紹介します。	
2		
3		
4		
5		